

日本労働衛生工学会ニュース

JOHA News Vol.24 No.1, 2026（通巻 No.32）

1. 第65回日本労働衛生工学会が愛媛県松山市で開催されます

第65回日本労働衛生工学会を2026年10月21日（水）～23日（金）に愛媛県松山市の愛媛県民文化会館にて、日本作業環境測定協会学術大会との共催にて開催する運びとなりました。詳細につきましては、労働衛生工学第65号ならびにWebページにて案内致しますが、概要は下記のとおりとなっております。

日程：2026年10月21日（水）～23日（金）

会場：愛媛県民文化会館（愛媛県松山市道後町2-5-1）

参加費：会員（正会員・学生会員）5,000円、非会員（学生を含む）12,000円

交流集会：10月22日（木）、学会会場内（参加費7,700円、事前申込みのみ）

皆様方の積極的なご参加ならびに発表をお待ちしております。詳細については、本号とともにお送りした学会開催案内ならびに、学会Webページ(<http://joha-org.jp/>)にて確認をお願いいたします。

2. 第99回日本産業衛生学会が大阪市にて開催されます

第99回日本産業衛生学会は、「すべての働く人への産業保健—実践と学術の協働で挑む—」をメインテーマに、大阪府大阪市の大阪国際会議場で2026年5月27日（水）～30日（土）に開催、それに引き続いてオンデマンド配信が6月23日（火）～8月17日（月）に開催されることになっております。詳しくは学会Webサイトを御覧ください。<https://convention.jtbcom.co.jp/sanei99/>

なお、次回第100回は2027年5月に福岡県北九州市での開催が予定されております。

3. 第36回日本産業衛生学会全国協議会が倉敷市にて開催されます

第36回日本産業衛生学会全国協議会は、「ここから始まった感謝の旅路 想いを胸に皆で集いあう」をメインテーマに、岡山県倉敷市の「倉敷市民会館」他にて2026年11月5日（木）～7日（土）に開催が予定されております。プログラム、参加登録、演題登録等は下記Webサイトよりご確認ください。

<https://www.kwcs.jp/sanei-kyogikai2026/>

なお、次回第37回は2027年秋に青森県青森市での開催が予定されております。

4. 第85回全国産業安全衛生大会が札幌市で開催されます

第85回全国産業安全衛生大会が2026年9月16日（水）～18日（金）に北海道札幌市の北海道立総合体育センター（北海きたえーる）他にて「大地にみなぎる 安全・健康 決意の力」をメインテーマに開催されます。詳しくは下記Webサイトを御覧ください。<https://jisha-taikai2026.com/>

5. 第 74 回日本職業・災害医学会学術大会が仙台市で開催されます

第 74 回日本職業・災害医学会学術大会が、2026 年 12 月 3 日（木）～5 日（土）に宮城県仙台市の仙台国際センター展示棟にて「地域の未来は決定づけられているものではない」をテーマに開催されます。詳細はこちらを御覧ください。<https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsomt2026/>

6. 第 14 回 IOHA 国際会議が 2027 年にモントリオールで開催されます

国際労働衛生工学協会（IOHA）の第 14 回国際会議が 2027 年 10 月 4 日（月）～8 日（金）にカナダ・モントリオールで開催されます。現時点では詳細は掲載されておりませんが、今後順次掲載されると思われますので、参加をお考えの方は大会 Web ページにて最新情報をご確認ください。

<https://ioha2027.com/>

7. 第 9 回アジア産業衛生ネットワーク学会がモンゴルで開催されます

第 9 回アジア産業衛生ネットワーク学会（ANOH）が 2026 年 9 月 15 日（火）～18 日（金）にモンゴル・ウランバートルにて「Protect Workers in Developing Regions and Remote IH Consultation」をメインテーマに開催されます。詳細は日本産業衛生学会 産業衛生技術部会の情報ならびに、学会 Web サイトを御覧ください。

<https://jsoh-ohe.umin.jp/announce.html#anoh2026> <https://anoh2026.mn/>

8. 国際呼吸保護学会（ISRP）2026 がモントリオールで開催されます

国際呼吸保護学会（ISRP）が 2026 年 10 月 19 日（月）～23 日（金）にカナダ・モントリオールで開催されます。詳しくは <https://www.isrp.com/news/isrp-2026-centre-mont-royal> をご覧ください。なお、次回は 2028 年に日本で開催予定です。

9. 日本産業衛生学会 第 3 回関東地方会学会が横浜市で開催されます

日本産業衛生学会 第 3 回関東地方会学会が 2026 年 7 月 10 日（金）～11 日（土）に神奈川県横浜市の神奈川県立かながわ労働プラザ（エルプラザ）にて「実践に活かす産業保健」をメインテーマに開催されます。詳細はこちらを御覧ください。<https://jsohkt3.yupia.net/>
なお、次回第 4 回は東京都大田区での開催が予定されています。

10. 第 85 回東北地方会学会が弘前市で開催されます

第 85 回日本産業衛生学会東北地方会が 2026 年 7 月 24 日（金）～25 日（土）に青森県弘前市の青森県弘前市文化センターにて「つながりの力、働きがいの創造」をメインテーマに開催されます。詳細はこちらをご覧ください。<https://www.sanei-michinoku.jp/news/38693>

11. 皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルが更新されました

皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルが更新され、2026年3月に第3版が公開されました。このマニュアルは主に保護具着用管理責任者の皮膚障害等防止用保護具の適切な選択・使用・保守管理を推進するために2024年2月に初版が公開されたもので、その後、保護衣等の情報の拡充を行った第2版の公開を経て、今回、耐透過性能一覧表や化学防護服の選定の考え方等について記載された第3版が公開されたものです。

詳しくは <https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001670143.pdf> をご参照ください。

12. 化学物質の業種・作業別マニュアルが公開されています

化学物質のリスクアセスメントに関する業種・作業別マニュアルが厚生労働省のサイトにて公開されています。これは、労働災害が多発している業種・作業を中心に作成されているもので、準備のできた業種・作業から順次公開されています。

詳しくは https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_55176.html をご覧ください。

13. クリエイト・シンプル Ver. 3.2 が公開されました

簡易リスクアセスメントツールであるクリエイト・シンプル (CREATE-SIMPLE) の Ver. 3.2 が2026年3月に公開されました。詳しくはこちらをご覧ください。

https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_3.htm

14. 代替化学名等に関する指針・マニュアルが公開されました

労働安全衛生法及び作業環境測定法の改正により、一定の条件下において成分の化学名の代替が認められましたが、これについて2026年2月20日付で「通知対象物に係る代替化学名等の通知に関する指針」および、「代替化学名等作成マニュアル」が厚生労働省より公開されました。

指針：<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001659845.pdf>

代替化学名等作成マニュアル：<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001663302.pdf>

15. 化学物質管理に係る専門家検討会の報告書が公表されました

「化学物質管理に係る専門家検討会」の令和7年度報告書が2026年3月27日付で公開されました。この報告書は、労働安全衛生規則第577条の第2項に定める厚生労働大臣が定める濃度の基準（濃度基準値）および濃度の測定方法や、令和5年4月から順次施行されている労働安全衛生法による新たな化学物質規制を的確に実施するために必要な方策について、専門家が検討した結果を取りまとめたものです。詳細は https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72030.html をご参照ください。

16. 熱中症対策が罰則付きで義務化されました

2025年4月15日付で労働安全衛生規則の一部が改正され、暑熱職場における熱中症対策が罰則付きで義務化されました（2025年6月1日施行）。

詳細はこちらをご覧ください。<https://www.mhlw.go.jp/content/001476821.pdf>

なお、リーフレットは日本語版のほか、英語版、中国語版、ベトナム語版が準備されています。

日本語版：<https://www.mhlw.go.jp/content/001620541.pdf>

英語版：<https://www.mhlw.go.jp/content/001620349.pdf>

中国語版：<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001620337.pdf>

ベトナム語版：<https://www.mhlw.go.jp/content/001620351.pdf>

17. 熱中症防止のためのガイドラインが出されました

「職場における熱中症防止対策に係る検討会」における議論を経て、2026年3月18日付で「職場における熱中症防止のためのガイドライン」が策定され、公開されました。また、同検討会の概要や報告書も公開されています。

詳しくは https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_71721.html をご参照ください。

18. STOP!熱中症 クールワークキャンペーンが公開されました

令和8年度「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」が2026年3月19日に公開されました。今回は昨年の労働安全衛生規則改正ならびに、「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の発行を受け、「湿球黒球温度の値（WBGT値）の把握、重篤化防止対策の周知、有訴者への特段の配慮」に重点を置いた内容となっています。併せて、令和7年度の熱中症死傷災害の発生状況（速報値）も公開されています。

詳しくはこちらをご覧ください。https://www.mhlw.go.jp/stf/coolwork_2026.html

19. 労働者の健康保持推進のための指針が改正されました

「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」が2026年2月10日付で改正されました。

詳しくはこちらをご覧ください。<https://www.mhlw.go.jp/content/001080091.pdf>

20. 酒井 CHS 振興財団より研究助成募集の案内が来ております

公益財団法人酒井 CHS 振興財団より、2027年度労働衛生研究助成の募集についての案内がありました。これは、労働者の健康で快適な労働環境の実現及び労働者の健康の確保・増進により労働衛生水準の向上に役立つ研究に対し、助成をするものです。詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.sakai-chs.or.jp/works/subsidy.html>

21. 第 64 回日本労働衛生工学会（旭川）開催報告

2025 年 10 月 29 日（水）～31 日（金）に、第 64 回日本労働衛生工学会が川上貴教実行委員長のもと、北海道旭川市の旭川市民文化会館にて、第 46 回日本作業環境測定協会学術大会との共催で実施されました。学会では一般演題 27 題の他、現場報告、基礎講座、共同シンポジウムが行われました。

【現場報告】10 月 29 日（水）13 時より開催された現場報告では、齋藤謙一氏（帯広畜産大学）より「帯広畜産大学の化学物質管理への取り組み」、横山和也氏（パナソニック健康保険組合）より「加熱脱着法による作業環境測定と自律的管理への展開」と題してそれぞれ講演をいただきました。

【基礎講座】10 月 30 日（木）10:30 より開催された基礎講座では、圓藤吟史氏（中央労働災害防止協会近畿・大阪安全衛生総合サービスセンター技術顧問、大阪公立大学名誉教授）より「GHS 分類に対応した各種基準濃度の活用」と題して講演をいただきました。

【共同シンポジウム】10 月 30 日（木）13 時より開催された共同シンポジウム第一部（日本労働衛生工学会担当）では、「中小企業は自律的化学物質管理に適應できるか？ 事業場規模を問わない自律的化学物質管理の目指すところ」をテーマに、半田有通氏（元・厚生労働省労働基準局安全衛生部長）から「化学物質管理における「性能要件化」と「自律的化学物質管理」を、池田和博氏（特定非営利活動法人 北海道安全衛生研究所 会長）から「北海道における中小事業場規模の化学物質安全衛生活動について」、荒尾弘樹氏（日揮触媒化成(株)）から「小規模事業場における自律的化学物質管理の推進に向けたリスクアセスメントと危険性・有害性認識のための安全衛生教育の検討」、宮内博幸氏（産業医科大学産業保健学部）から「労働衛生分野における化学物質専門家としてのスキルと大学における専門家養成教育について」を、それぞれ講演していただきました。

また、第二部（日本作業環境測定協会担当）では、「個人ばく露測定に作業環境測定士はどのように対応すべきか」をテーマに、佐藤誠氏（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課 環境改善・曝露対策室長）、山田憲一氏（元・中央労働災害防止協会）、高橋伸崇氏（静岡県産業環境センター）、植村賢二氏（(株) 東海テクノ）をパネリストとしてパネルディスカッションを実施しました。

詳細については「労働衛生工学」65 号(6 月発行予定)の掲載記事をご参照ください。

22. 会員登録情報の確認と更新のお願い

すでにご連絡がありましたとおり、昨年度より当学会の会員・会費管理ならびに、学会参加申し込みが電子化（オンライン化）されております。年会費納入や、学会参加申し込み、学会参加費の納入等を行う際には、システムの利用が必要となります。初期登録がお済みでない方は、事務局からのメールをご参照の上、手続きをお願いいたします。ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

また、所属変更や連絡先、メールアドレス変更等が生じた方は、速やかに情報の更新をお願い致します。アカウントならびにパスワードをお忘れの方はログイン画面よりお問い合わせください。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

シクミネットログイン URL : <https://joha.shikuminet.jp/login/>

23. 学会機関誌「労働衛生工学」への投稿のお願い

学会機関誌「労働衛生工学」では、皆様の投稿をお待ちしております。投稿原稿の種類は、総説、原著、解説、調査報告、編集者への手紙、話題の6種類で、投稿原稿の採否は編集委員会にて決めさせていただきます。投稿したい原稿がございましたら、投稿規定をご一読の上、編集委員長までご提出ください。

<https://joha-org.jp/pdf/toukoukitei202304.pdf>

文責： 編集委員長 齊藤宏之

日本労働衛生工学会ニュース JOHA News Vol.24, No.1 (通巻32号) 2026年5月1日

発行：日本労働衛生工学会 The Japan Occupational Hygiene Association (JOHA)

編集責任者：齊藤宏之 (労働安全衛生総合研究所)

事務所：〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学産業保健学部内

TEL 070-3101-6017 E-mail: info@joha-org.jp

学会 Web ページ: <http://joha-org.jp/>